



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No.267

2021.7-8

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しみ、積極的に活用するためにつくられました。

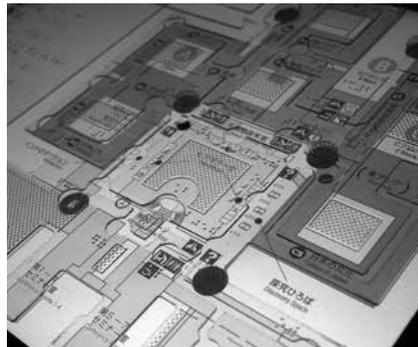
発行日 2021年7月1日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

\\ 3回目! //

デジタル触地図が受賞しました!

みんぱくの展示場に設置されている「デジタル触地図(国立民族学博物館触知案内板)」をご存知でしょうか。タッチパネルディスプレイ上に設置したフィンガーガイドと音声案内との連動によって、館内の位置情報や展示案内を触覚と聴覚から得ることができる展示場の案内板です。このたび、デジタル触地図がUNIVERSAL DESIGN competition 2021(ドイツ)において、UNIVERSAL DESIGN expert 2021(専門家賞)、UNIVERSAL DESIGN consumer 2021(消費者賞)をダブル受賞しました。2020年度グッドデザイン賞、IAUD国際デザイン賞2020銀賞(公共空間デザイン部門)に続く3回目の受賞です!

デジタル触地図は、みんぱくの「来館者視点からの情報化」をテーマにしたプロジェクトから生まれました。既設の館内案内板のデザインを踏襲したタッチパネルディスプレイと、透明アクリル製のフィンガーガイドを採用することで、視覚に障がいのある人の「ための」デザインではなく、より多くの人が「ともに」利用できるデザインを目指して開発。今後は、他の博物館への公開と普及にも取り組む予定です。



デジタル触地図(左)とその触知案内画面(右)。本館展示には3台が設置され運用されています(写真提供:国立民族学博物館)

国立民族学博物館は 6月24日(木)に再開しました。

国立民族学博物館(みんぱく)は、緊急事態宣言の発出を受け、四月二十五日(日)より臨時休館しておりましたが、六月二十四日(木)に本館展示を再開いたしました。なお、左記については、引き続きご協力をお願いしております。

- ・図書室の一般利用は中止しております。
 - ・催し物には開催方法の変更、もしくは中止となっているものがございます。
 - ・団体見学、団体予約は停止しております。
- 最新の情報は、随時、ホームページをご確認くださいませようお願いします。

【島根県立古代出雲歴史博物館 特別展】

巡回展の
ご案内

子ども／おもちゃの博覧会

会 期：2021年7月2日(金)～8月22日(日) ※7/27(火)、8/17(火)は休館日

会 場：島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

観覧料：一般1,000円、大学生500円、小中高生300円

※特別展の観覧料です。常設展とのセット券(一般1,310円)もございます。

主 催：島根県立古代出雲歴史博物館(島根県出雲市) 共 催：国立民族学博物館

2019年春にみんぱくで開催された特別展が、このたび島根県にまいります!

日本において、おもちゃは江戸時代から商品として生産されはじめ、明治時代には海外から近代的な素材や技術、考え方が紹介され大きな変化を遂げました。その後も、戦争や高度経済成長期におけるマスメディアの普及など、おもちゃは世相を反映して変化を続けてきました。みんぱくの所蔵資料を中心に、江戸時代から昭和にかけての日本のおもちゃの歴史を紹介するとともに、社会と子どもたちの関係について考えます。ぜひ会場に足をお運びください。

感染症対策の影響等により急遽予定を変更する場合があります。

最新の情報は島根県立古代出雲歴史博物館のホームページをご確認ください。

<https://www.izm.ed.jp>



本紙掲載の情報は、2021年6月18日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により、急遽、予定を変更する場合があります。最新情報は、みんぱくならびに友の会のホームページをご確認ください。

みんぱくゼミナール 会員先行予約のご案内

みんぱくゼミナールには維持会員、正会員、家族会員のみなさまを対象に先行予約がございます。

会員先行予約は該当期間中に事務局までご連絡ください。会員先行予約が定員に達した場合は一般受付をご利用ください。

第511回

人はなぜ共に歌うのか？

—インド北東部ナガの
伝統ポリフォニーの事例から

講師 岡田 恵美(民博准教授)

日時 7月17日(土)

13:30~15:00

参加方法 オンライン(ライブ配信)での聴講
(定員300名)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
本講演会は、オンライン配信のみでの開催となります。

申込期間

■友の会電話先行受付(会場参加のみ、定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員

※受付期間は終了しました。

■一般受付

・オンライン予約

期間：7月14日(水)まで

第512回

規則的配色が つくりだす宗教空間

—敦煌莫高窟の千仏壁画

講師 末森 薫(民博助教)

日時 8月21日(土)

13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での聴講
(定員160名)
②オンライン(ライブ配信)での聴講
(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(会場参加のみ、定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員

期間：7月12日(月)~7月16日(金)

■一般受付

・オンライン予約

期間：7月19日(月)~8月18日(水)

・当日参加受付(会場参加のみ、定員30名)

第513回

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム
—さわる!“触”の大博覧会」関連】

健常者とは誰か

—琵琶なし芳一の話

講師 広瀬 浩二郎(民博准教授)

日時 9月18日(土)

13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での聴講
(定員160名)
②オンライン(ライブ配信)での聴講
(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(会場参加のみ、定員30名)

対象：維持会員、正会員、家族会員

期間：8月16日(月)~8月20日(金)

■一般受付

・オンライン予約

期間：8月23日(月)~9月15日(水)

・当日参加受付(会場参加のみ、定員30名)

申込方法

■友の会電話先行受付(会場参加のみ)

該当期間中に友の会事務局までお申し込みください。

申込先着順/本人を含む2名まで

【申込先】千里文化財団友の会事務局

電話 06-6877-8893 (9時~17時、土日祝を除く)

■一般受付

該当期間中に下記いずれかの方法でお申し込みください。

申込先着順/本人を含む2名まで

・オンライン予約 みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。

・当日参加受付(会場参加のみ) 11時から本館2階講堂前にて受け付けます。

◎参加無料。会場参加の方には入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配布します。

催しの詳細、オンライン予約については、みんぱくホームページ内の
催しのご案内ページをご確認ください。

<https://www.minpaku.ac.jp/event>



感染予防に
ご協力
ください

博物館の感染症対策、それに伴う来館者のみなさまへのお願いをみんぱくホームページのトップページで公開しています。
当面のご来館に際してはオンラインでの事前予約をおすすめしていますが、**友の会会員は入館予約が不要**です。ご入館の際は
1階入館受付で会員証をご提示ください。同行者が非会員の場合はオンラインでの入館予約をおすすめください。スムーズ
にご入館いただけます。なお、催しの参加予約をされている方も入館予約は不要です。

おうちで楽しむ！ オンラインコンテンツのご紹介

みんぱくと友の会では、ご自宅でも楽しんでいただけるコンテンツを用意しています。
博物館でも、おうちでも！ みんぱくがもっと楽しくなるオンラインコンテンツをぜひご利用ください。

おうちでみんぱく (みんぱくのホームページで公開中)

・バーチャルミュージアム

パノラマムービーでくまなく撮影した展示場の様子を、パソコン等のモニター上でさまざまな角度から見るができます。

・ワークシート

展示を見学するヒントが詰まったシートです。バーチャルミュージアムとあわせてお楽しみください。

・みんぱくYouTube公式チャンネル

施設案内や研究者による展示の解説動画を公開しています。



<https://www.minpaku.ac.jp/teacher/school/ouchi>

オンラインレクチャー (友の会のホームページで公開中)

みんぱくの研究者によるミニレクチャー動画を公開しています。
最新番組の話者は川瀬慈先生。7月の公開を予定しています！

【公開中の番組】

・なぜ古代文明の建物は大きいのか——南米アンデス文明からの視点
(話者：関雄二)

・感染症と文明——現下のコロナ渦に思う (話者：吉田憲司)

・梅棹忠夫生誕100年記念企画展「知的生産のフロンティア」に寄せて
(話者：中牧弘允)



<https://www.senri-f.or.jp/category/events/online/>

7月・8月のイベントスケジュール

●友の会講演会【要予約】

7/3(土)末森薫(★)、8/7(土)白川千尋(★)

●みんなくゼミナール【要予約】

7/17(土)岡田恵美(★)、8/21(土)末森薫(★)

●みんなくウィークエンド・サロン

8/22(日)奈良雅史、8/29(日)宇田川妙子

●その他の催し【要予約】

8/7(土)みんなく夏休みこどもワークショップ
「ドンドン・クンタクン! ダンボール太鼓で韓国のリズムを叩こう!」(★)

- ◆都合によりスケジュールを変更する場合があります。
- ◆予約の必要な催し、すでに満席になっている催しがございます。また、会場とオンライン配信の併用(★印)、もしくはオンライン配信のみ(★印)で実施する催しもございます。詳細はみんなくならびに友の会のホームページをご確認ください。
- ◆イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

2021年7月31日 発行予定 //

友の会機関誌『季刊民族学』177号

特集 焼畑と現代文明 ——佐々木高明の焼畑農耕論を超えて

国立民族学博物館の第2代館長 佐々木高明は、焼畑研究の第一人者、照葉樹林文化論の提唱者のひとりとして知られている。1958～60年に「最後の焼畑」を調査するために熊本県の五木村を訪問、その後、国内外で焼畑の調査研究を進め、『日本の焼畑』『稲作以前』など、独自の日本文化形成論へと発展させた。焼畑とは人類にとってどのような営みか、日本における焼畑のはじまり、世界の焼畑の現在、焼畑の今日的意義などを、佐々木の焼畑研究の原点の地、五木村から発信する。

会員以外の方も、みんなくミュージアム・ショップでお求めいただけます[2,750円(税込)+郵送の場合発送手数料]。

ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



六月八日(火)
イツカ民族学
研修の旅ニ行
ツテミタイナ。
イロンナ国へ行
ツテミタイナ。
僕ハイツ旅ニ
出ルノカナ。

友の会講演会のご案内

事前申込先着順です。友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

ご参加は下記の会員種別のみなさまが対象です。

維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、キャンパスメンバーズ、特別フリーパスをお持ちの方

7月はオンライン配信限定で開催します。

8月と9月は、会場とオンライン配信いずれかで参加方法をお選びいただけます。

・館内での聴講について

国立民族学博物館 第5セミナー室で開催します(定員40名)。
※当日、メイン会場が満席の場合は中継会場(第3セミナー室/定員17名)にご案内します。

・オンラインでの聴講について

オンラインでのライブ配信もおこなっています(定員100名)。
※著作権の都合で配信をおこなわない月もあります。

第514回 オンライン配信で開催します

河西回廊の石窟寺院と美術

講師：末森 薫(民博助教)

日時：7月3日(土)13:30～14:40

参加方法：オンライン(ライブ配信)での参加

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
本講演会は、オンライン配信のみでの開催となります。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/514tomo/>



第515回 参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

呪術を理解する

——ヴァヌアツの邪術をめぐる

講師：白川 千尋(大阪大学教授)

日時：8月7日(土)13:30～14:40(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加

②オンライン(ライブ配信)での参加

呪術とは、科学的な理解を超えた存在や力に働きかけることで、特定の目的を達成しようとする行為や知識を指します。占いや厄払いなど私たちの身近にも珍しくありませんが、今回の講演会では南太平洋のヴァヌアツ共和国の邪術(不幸にかかわる呪術)を取り上げます。また、邪術や呪術をめぐる文化人類学者の理解のあり方についても考えます。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/515tomo/>



第516回 参加方法をお選びください(会場もしくはオンライン)

金曜日には墓地で会いましょう

——イランにおける死の多義性と「英霊」

講師：黒田 賢治(民博特任助教)

日時：9月4日(土)13:30～14:40(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加

②オンライン(ライブ配信)での参加

身近な人を亡くす経験は、生きているうえでどうしても避けられないことのひとつです。さまざまな死の形があるなかで、その解釈も向き合い方も異なってきます。今回の講演会では、中東の国イラン・イスラーム共和国における死をめぐる解釈について、特に「英霊」とされた人びとへの弔いに目を向けながら探っていきます。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/516tomo/>



■第511回 ■2021年4月3日(土)

「食」を学問にする

朝倉敏夫 (民博名誉教授)

みなさんは「食」の研究というと、どのようにイメージするでしょうか？ 食べ物の研究といえば栄養学や調理学を、食料の研究といえば農学を思い起こすのではないのでしょうか。

梅棹忠夫は、日本の家政学部では、なぜ栄養学や調理学にかたよっているのかと疑問を呈しました。そして石毛直道は、食を文化として捉えることを提唱しました。

食を文化として捉えるとは、どういうことでしょうか？ 新しい「食」研究のあり方とは、どのようなもの



食の総合的研究を目指す立命館大学食マネジメント学部のライブラリーギャラリー

でしょうか？ Gastronomy は、美

食と訳されますが、料理と文化の関係を考察することであり、法律家であり、美食家でもあるブリアール・サヴァランは、「ものを食べる存在である人間にかかわるあらゆる知識を、体系的に理論付けたものである」と述べています。そこで、わたしはあらたな「食」の学問を Gastronomic Arts & Sciences となわち「食科学」とよびたいと考えています。

今、日本の大学ではあらたな「食」研究の機運があがっています。そのひとつが立命館大学の食マネジメント学部の設立です。また、和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを契機に和食文化学会が設立しました。

みんなは、これまでも「食」の研究において、きわめて重要な役割を果たしてきました。今日、世界的な問題となっている新型コロナやSDGsにも、食はさまざまにかかわっています。これらの問題の解決や目標達成のためにも、「食」の総合的研究が求められています。

■第512回 ■2021年5月1日(土)

アジア鍵盤楽器考

——楽器の受容にみるグローカリゼーション

岡田恵美 (民博准教授)

一八四二年にフランスで発明された鍵盤楽器ハルモニウム。一九世紀後半より、西欧では圧縮型鞴のハルモニウム産業が、米国やアジアでは吸入型鞴のリードオルガン産業が興隆しました。講演では一九世紀後半以降の日本のリードオルガン産業とインドのハルモニウム産業に着目し、楽器改良や楽器の受容に伴う音楽文化の再編という角度から紹介しました。

日本で鍵盤楽器が広く普及した要因には、明治期に西洋音楽教育が導入されるなかで、当時「風琴」とよばれたリードオルガンが学校教育の教具となり、その産業が興隆した歴史的背景があります。したがって、日本では西洋音楽を奏する洋楽器として受容されました。

一方インドでは、同時期にハルモニウムの国産製作が進行し、インドの演奏様式に適した楽器改良を重ね、楽器だけを既存のインド音楽文化に組み込む、いわばグローカリゼーション型の発展を遂げました。しかしながら、国営ラジオ放送局での三〇年間を超えるハルモニウムの



インドのリード系鍵盤楽器ハルモニウム

使用禁止やその採用をめぐる論争は、音高が固定された鍵盤楽器という特性ゆえに、微分音やインド音楽に不可欠な裝飾音が表現できないという欠点を顕著にしました。これは同時に、インド独特の楽器観「インドの音楽に採用される楽器はこうあるべき」というローカルな規範を再認識させる契機でもありました。その後、インド音楽の核となる「歌唱のような表現法」を「いかに楽器で具現化するか」を軸に奏法改良や楽器改良が進展し、ハルモニウムは今日ではインドの様々な芸能や音楽で汎用され、長い年月をかけて市民権を得た楽器となりました。

本紙掲載の情報は、2021年6月18日時点で決定している内容です。新型コロナウイルス感染症の影響等により急遽予定を変更する可能性があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。
国立民族学博物館友の会
公益財団法人 千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10-1 (国立民族学博物館3階)
電話 : 06-6877-8893 (平日9:00~17:00)
FAX : 06-6878-3716
e-mail : minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報



ホームページ
<https://www.minpaku.ac.jp>



Facebook
<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

国立民族学博物館友の会 最新情報



ホームページ
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



Facebook
<https://www.facebook.com/minpakutomo/>